



# 2020 FUN&RUN! 2-Wheels [1]

in SUZUKA CIRCUIT INTERNATIONAL RACING COURSE

RACE // ROAD STAR // NEO STANDARD

## 28 Sat. March

### イベント全体概要報告

#### ■開催概要

- 大会名称 : 2020 FUN & RUN! 2-Wheels [1]  
IN SUZUKA CIRCUIT INTERNATIONAL RACING COURSE
- 開催場所 : 鈴鹿サーキット・国際レーシングコース／東コース (2.243km)
- 開催日 : 2020年3月28日 (土)
- 天候 : 曇り
- 主催者 : 株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット 三重県鈴鹿市稲生町7992  
<http://www.mobilityland.co.jp/suzuka/>
- 開催クラス: ★総参加台数／117台
  - ROAD STAR CHALLENGER I...4台
  - ROAD STAR I...6台
  - ROAD STAR EXPERT I...7台
  - ROAD STAR II...3台
  - ROAD STAR EXPERT II...6台
  - FUN & RUN Mix Small／EXPERT...18台
  - ST250...2台
  - FUN & RUN Mix Big／EXPERT...20台
  - NEO STANDARD<Ninja250R>...13台
  - NEO STANDARD<YZF-R25>...14台
  - NEO STANDARD<CBR250R>...15台
  - NEO STANDARD<VTR250>...3台
  - NEO STANDARD<G310R>...6台

#### ■次回開催予定

- 大会名称: 2020 FUN & RUN! 2-Wheels [2] IN SUZUKA CIRCUIT INTERNATIONAL RACING COURSE
- 開催場所: 鈴鹿サーキット・国際レーシングコース／東コース (2.243km)
- 開催日: 2020年6月13日 (土)
- 開催クラス: NEO STANDARD (Ninja250R／YZF-R25／CBR250R／VTR250／G310R)  
CLASSIC (C-50／C-90／C-125／C-350／C-500／C-OPEN)  
ROAD STAR WARS I, ROAD STAR WARS II

★レースリザルトは、インターネットでご覧いただけます。

リザルトページ [https://www.suzukacircuit.jp/result\\_s/](https://www.suzukacircuit.jp/result_s/)

★レース写真は、バトルファクトリー様のHPでご購入いただけます。

バトルファクトリーHP <http://www.battle.co.jp/>



# 2020 FUN&RUN! 2-Wheels 1

in SUZUKA CIRCUIT INTERNATIONAL RACING COURSE

RACE // ROAD STAR // NEO STANDARD

## 28 Sat March

### 開催クラス紹介

#### 【NEO STANDARD】

現在、各社から発売されている、手頃な車両価格で最も人気の高い4ストローク250ccマシンによるエントリークラス。カワサキNinja250R、ホンダVTR250、ホンダCBR250R、YZF-R25、BMW G310Rの5車種にクラス分けされています。スプリントレースでありながら、途中ライダー交代またはピットインが必要となります。また、チームエントリーでシリーズ戦として開催し、車両別となったカテゴリーでのチャンピオンが決定するのも人気の理由。ライダーを1大会2名まで登録することができ、チームとしても楽しめる、経済的なクラスとなっています。

##### ●参加車両例

カワサキNinja250R    ホンダVTR250    ホンダCBR250R    ヤマハYZF-R25    BMW G310R

#### 【ROAD STAR (CHALLENGER/EXPERT) I/II】

※CHALLENGERは“I”のみ

ROAD STAR WARS同様、一般公道走行が認められるナンバー付車両による競技です。ROAD STAR WARSとは違い、こちらは全て「タイムアタック形式」の競技となります。また、ライダーのスキルにより、入門者にはCHALLENGERクラスから、上級者にはEXPERTクラスまで幅広く参加できるクラスとなっています。

●参加車両例    ホンダCBR1000RR    ヤマハ YZF-R1    トライアンフ デイトナ675    ビューエル XB9S    スズキ TL1000S

#### 【FUN&RUN Mix Big】

「Mix Big」は、国内外のV型2気筒エンジン搭載車と一般生産型の車両で4ストローク401cc以上のマシンなら何でも参加可能なクラス。国内外メーカーのツインバイク、そしてビッグネイキッドが一堂に会するレースは迫力が違います。特に「C-OPEN」クラスは、排気量が2ストローク251cc/4ストローク401cc以上でホイールサイズが16インチ以上であればどんな車両でも参加可能なクラスです。

##### ●参加車両例

ホンダ CBR1000RR    ヤマハYZF-R6    スズキ GSX-R600  
ホンダ CB1300SF    ヤマハ XJR1300    スズキ GSF1200    カワサキ GPZ900    ドゥカティ 999S  
ドゥカティ 1098S    アプリリア RSV1000R    ホンダ VTR1000SP1

#### 【FUN&RUN Mix Small】

いわゆるシングルや小排気量車、すなわち排気量が2st250cc/4st 400cc以下で、ホイールサイズが16インチ以上の一般生産型市販車、単気筒および2気筒エンジンを搭載するバイク、そして400cc以下と 2ストローク250cc公道用一般車両と車両が対象。一世を風靡したレーサーレプリカなど個性的なバイクが参加します。排気量と気筒数により、Small I、Small IIと参加車両のカテゴリーが 分かれています。

##### ●参加車両例

ホンダ NSR250SE    ヤマハ TZR250RS    ヤマハ SRX600    スズキ SV400S  
ホンダ CBR400RR    カワサキZXR400R

#### 【ST250】

鈴鹿サンデーロードレースで2010年に入門クラスとして新設され、適度なパワーや低コストで参加できることなどから、現在最も注目を集めてきているクラス。4ストローク145cc以上250cc(最大2気筒)以下の公道用一般車両をベースとし、ストッククラス=最小限の改造とコストで参加できる参加型レースを基本理念としています。現在はファンランでの開催となっています。

##### ●参加車両例

カワサキ Ninja250R    ホンダ VTR250    ホンダ CBR250R    ヤマハYZF-R25    Megelli250r





# 2020 FUN&RUN! 2-Wheels 1

in SUZUKA CIRCUIT INTERNATIONAL RACING COURSE

RACE // ROAD STAR // NEO STANDARD

## 28 Sat. March

### イベント全体概要報告

## 2020年シーズンの2輪レースもこのイベントからスタート! 各カテゴリーで激しいバトルが展開されて大いに盛り上がった!!

「みんなで走ってバイクをもっと楽しもう!!」をコンセプトに、1999年に始まった「FUN & RUN! 2-Wheels (通称“ファンラン”)」。今シーズンの鈴鹿サーキットにおける2輪レースが例年通りこの“ファンラン”からスタートした。

“ファンラン”の魅力はなんと言っても様々なバイクのレースやタイムアタックが見られること。中でも特に注目を集めているのがナンバー付きのバイクで参加できるレース競技の「ROAD STAR WARS」クラスや、それらのバイクによるタイムアタック競技の「ROAD STAR」クラスだ。普段乗っているバイクでそのまま参加できるため、“ファンラン”開催当初から高い人気を誇ってきた「ROAD STAR」クラスには合計26台が参加。このカテゴリーにはネイキッドのHonda CB1300や同CB-1、ストリートファイター的なモデルのKTM 790 DUKEで参戦するライダーもいた。また、マシンをチェンジしたり愛車のカラーリングを変更したりして参加するライダーも目立った。このように思い思いのバイクで参戦できるのも“ファンラン”の魅力だ。

国内外メーカーのツインバイクやビッグネイキッド、レーサー、市販車が入り乱れてバトルを展開する「FUN & RUN Mix Big」、シングルや小排気量車による「FUN & RUN Mix Small」、一般公道用の4ストローク250cc以下のマシンによって争われる「ST250」の3カテゴリーは昨年が年間2戦の開催だったのに対し、今シーズンは年間3戦開催に変更された。これらのカテゴリーでも激しいバトルが展開された。

昨今の“ファンラン”ではシリーズ全4戦を最大8名で参戦できる「NEO STANDARD」クラスも人気を集めている。2010年にスタートしたこのカテゴリーは参戦マシンが比較的リーズナブルな価格帯で販売されており、参戦しやすいことに加え、スプリントレースでありながらレース途中でのライダー交代またはピットインが義務付けされており、セミ耐久のような楽しみ方ができるのも魅力。ポイントがライダーではなくチームに付くため、大人数で楽しめるのも特徴のひとつだ。2018年シーズンからは「BMW G310R」クラスが新設され、さらに魅力が増したこのカテゴリーには合計51台が参加。<Ninja250R/YZF-R25>と<CBR250R/VTR250/G310R>の両レースにダブルエントリーするチームもあった。

今シーズンの“ファンラン”は今回と6月13日(土)、8月8日(土)の東コース大会、そして9月12日(土)の最終戦「Full Course Special」の合計4戦が行われる。ナンバー付き車両によるレース競技の「ROAD STAR WARS」や人気の「NEO STANDARD」に加え、1974年までに生産された往年の名車による「CLASSIC」クラスも盛り上がりそうな次回第2戦にも是非注目していただきたい。



NEO STANDARD (CBR250R/VTR250/G310R) 決勝スターティンググリッド





# 2020 FUN&RUN! 2-Wheels 1

in SUZUKA CIRCUIT INTERNATIONAL RACING COURSE

## RACE // ROAD STAR // NEO STANDARD

### 28 Sat. March

## レースレポート-1【タイムアタック形式競技】

### ROAD STAR I / ROAD STAR CHALLENGER I / ROAD STAR EXPERT I

ROAD STAR CHALLENGER I / ROAD STAR I のタイムアタックからスタート。フリー走行でトップタイムをマークした明後邦彦がコースイン直後から好タイムを記録。それにフリー走行で2番手タイムをマークした橋本久志、同じく3番手タイムをマークした堀内則之が続く。橋本を上回るタイムをマークした堀内がタイミングボードの2番手に。明後が5周目に1分10秒316をマークして自己ベストを更新。明後が10周目にマークした1分09秒350が総合トップタイムとなった。ROAD STAR EXPERT I のタイムアタックではまず早川泰治が1分06秒301をマーク。1分06秒372の庄司達夫がそれに続く。庄司が7周目に1分03秒092をマークして早川を上回るが、すぐに早川が1分02秒786をマーク。しかし西溜英夫が11周目にマークした1分00秒917がトップタイムとなった。



ROAD STAR I 総合表彰式  
(優勝: 明後邦彦、2位: 堀内則之、3位: 橋本久志)



ROAD STAR CHALLENGER I 総合表彰式  
(優勝: 谷村尚彦、2位: 中川進、3位: 小川雅司)



ROAD STAR EXPERT I 総合表彰式  
(優勝: 西溜英夫、2位: 早川泰治、3位: 瀬辺毅)





# 2020 FUN&RUN! 2-Wheels 1

in SUZUKA CIRCUIT INTERNATIONAL RACING COURSE

RACE // ROAD STAR // NEO STANDARD

## 28 Sat. March

### レースレポート-2【タイムアタック形式競技】

#### ROAD STAR II / ROAD STAR EXPERT II

まず柴田直行が1分04秒608をマーク。坂之下孝秀が1分02秒981をマークしてそれを上回る。柴田が3周目に1分02秒480をマークして再びタイミングボードのトップに。続いて坂之下がそれを上回る1分02秒327をマークするが、柴田が1分01秒822をマークする。さらに坂之下が1分01秒285をマーク。お昼のインターバルの間に雨が降ったことにより、完全ウェットとなった路面コンディションのもと、坂之下と柴田が周回ごとにトップタイムを塗り替える。6周目に水本茂樹が1分01秒271をマークしてタイミングボードの2番手に。ピットに入った坂之下がタイミングボードで各選手のタイムを確認して再びコースインする。柴田が11周目に1分00秒765をマーク。9周目に高村 一明が1分00秒602がマークするが、柴田の1分00秒135がトップタイムとなった。



ROAD STAR II 総合表彰式  
(優勝: 廣田茂、2位: 木曾律津子、3位: 川島久弥)



ROAD STAR EXPERT II 総合表彰式  
(優勝: 柴田直行、2位: 坂之下孝秀、3位: 高村 一明)



# 2020 FUN&RUN! 2-Wheels 1

in SUZUKA CIRCUIT INTERNATIONAL RACING COURSE

RACE // ROAD STAR // NEO STANDARD

## 28 Sat. March

### レースレポート-3【レース形式競技】

#### NEO STANDARD<Ninja250R／YZF-R25>

ポールポジションからスタートしたディフェンディングチャンピオンの鳥居典生がホールショットを奪う。その鳥居がトップでオープニングラップを終了。それに4番グリッドスタートの杉島潤、3番グリッドスタートの山本晃久と続く。2番グリッドスタートの松浦光利が山本をパス。松浦は杉島をパスすると、トップ鳥居の背後にも接近する。鳥居、松浦、山本、杉島がトップグループを形成。7周目に松浦がトップに浮上する。トップグループから山本が脱落。松浦、鳥居、杉島はその後モテールtoノーズのバトルを展開する。20周目終了時点でその3台がピットイン。鳥居、松浦、杉島のオーダーでコースに復帰する。21周目終了時点で山本もピットに入る。松浦が虎視眈々と鳥居のテールを狙い続け、ファイナルラップの最終コーナー立ち上がりで鳥居の横に並ぶ。ほぼ同着でチェッカーを受けたが、判定の結果、鳥居の優勝が決まった。



NEO STANDARD<Ninja250R>表彰式  
(優勝: 山本晃久、2位: 花田定夫、3位: 西良英之)



NEO STANDARD<YZF-R25>表彰式  
(優勝: 鳥居典生、2位: 松浦光利、3位: 杉島潤)





# 2020 FUN&RUN! 2-Wheels 1

in SUZUKA CIRCUIT INTERNATIONAL RACING COURSE

## RACE // ROAD STAR // NEO STANDARD

### 28 Sat. March

## レースレポート-4【レース形式競技】

### NEO STANDARD

#### <CBR250R/VTR250/G310R>

昨年のチャンピオンチーム幾田晃弘／松浦光利組がウォームアップラップでコースアウト。早くも戦線を離脱する。トップでオープニングラップを帰ってきたのは4番グリッドスタートの竹田透／羽原祐樹組の竹田。それにポールポジションスタートの鈴木克正、2番グリッドスタートの小野田栄作と続く。鈴木が竹田をパスしてトップに。鈴木、竹田、小野田、8番グリッドスタートの原田悠平がトップグループを形成する。4周が終了する頃、雨が降っていることを示すレッドクロスが出される。6周目の2コーナーで鈴木が竹田をパス。次第にトップグループから原田が遅れ、トップグループは鈴木、竹田、小野田での争いとなる。まず竹田が19周目終了時点でピットイン。羽原にライダーチェンジする。鈴木と小野田は22周目終了時点でピットへ。コース復帰後は小野田、鈴木、羽原のオーダーに。小野田がトップチェッカーを受けた。



NEO STANDARD<CBR250R>表彰式  
(優勝:小野田栄作、2位:竹田透／羽原祐樹、3位:鈴木克正)



NEO STANDARD<VTR250>表彰式  
(優勝:樋口圭祐、2位:高橋潤、3位:上平真)



NEO STANDARD<G310R>表彰式  
(優勝:中島運己、2位:伊藤翼、3位:松田千帆／高橋徹)





# 2020 FUN&RUN! 2-Wheels 1

in SUZUKA CIRCUIT INTERNATIONAL RACING COURSE

RACE // ROAD STAR // NEO STANDARD

## 28 Sat. March

### レースレポート-5【レース形式競技】

#### FUN & RUN Mix Small / EXPERT + ST250

2番グリッドスタートの清水省作が良いクラッチミートを披露するが、ポールポジションスタートの岸田尊陽がすぐにトップに。その岸田、清水、3番グリッドスタートの宮島伸也のオーダーでオープニングラップを帰ってくる。2周目に宮島が清水の横に並びかけるが、清水が2位、宮島が3位のまま2周目を終了。3周目のS字コーナーでも宮島は清水に並ぶ。同じく3周目の逆バンクでついに宮島が清水をパス。その間にもトップの岸田は宮島以降を引き離す。岸田よりコンマ5秒ほど速いタイムで周回を重ねる宮島が徐々に岸田に接近。6周目が終了する頃、宮島が岸田のテールを捕らえる。しかし、パスするには至らず、岸田がトップチェッカーを受けた。



FUN & RUN Mix Small I 総合表彰式  
(優勝: 清水省作、2位: 清水誠、3位: 畔柳章)



FUN & RUN Mix Small I EXPERT総合表彰式  
(優勝: 岸田尊陽、2位: 宮島伸也、3位: 大竹洋司)



ST250総合表彰式  
(優勝: 竹田透、2位: 平野佑果)





# 2020 FUN&RUN! 2-Wheels 1

in SUZUKA CIRCUIT INTERNATIONAL RACING COURSE

RACE // ROAD STAR // NEO STANDARD

## 28 Sat. March

### レースレポート-6【レース形式競技】

#### FUN & RUN Mix Big / EXPERT

3番グリッドスタートの辻尾裕司が絶妙なスタートを披露してホールショットをゲット。それにポールポジションスタートの池主永が続く。辻尾、池主、4番グリッドスタートの樋口幸博のオーダーでオープニングラップを終了。辻尾と池主の2台が序盤から激しいトップ争いを展開する。その若干後方では高橋洋之と樋口もテールtoノーズのバトルを繰り広げる。池主が辻尾をパスすると、池主は徐々に辻尾を引き離すことに成功。池主、辻尾、高橋はそれぞれ単独走行の状態となるが、内田洋一が激しい追い上げを見せ、樋口と高橋を立て続けにパス。内田が単独3位となる。結局、池主がトップチェッカー。辻尾が2位、内田が3位でチェッカーを受けた。



FUN & RUN OPEN総合表彰式  
(優勝: 辻尾裕司、2位: 樋口幸博)



FUN & RUN OPEN EXPERT / FUN & RUN Mix Big | EXPERT総合表彰式  
(優勝: 池主永、2位: 内田洋一、3位: 高橋洋之)